

元号が「令和」と改まり、翌年の東京オリンピック・パラリンピック開催と 2025 年の大阪万博を見据えて、この国がお祭り騒ぎによって何を覆い隠していくのか、現代美術家のユニットである「堀浩哉 + 堀えりぜ」の展覧会は、それへの批判とともに新時代を切り拓くビジョンを提示します。

「堀浩哉 + 堀えりぜ」は 2011 年に始動したユニットですが、両名による協働活動は 1970 年代半ばから続けられてきました。堀浩哉は 1960 年代末から半世紀に渡って美術家としての活動を続けていますが、堀の絵画以外の作品である 70 年代後半のパフォーマンスは堀えりぜとのコラボレーションによるものでした。そしてその後、堀浩哉が 20 年ほど絵画に専念したのちの 1990 年代末にパフォーマンスやインスタレーション作品を再開する際には、畠中実（現 I.C.C. 主任学芸員）を加えた「ユニット 00（堀浩哉、堀えりぜ、畠中実）」として活動を始め、さらに 2011 年の東日本大震災と原発事故以降は「堀浩哉 + 堀えりぜ」のユニットに改めて、旺盛な表現活動を展開しています。

また堀浩哉の 2015 年以降の「滅びと再生の庭」と題された絵画のシリーズでは、制作の際に堀えりぜが朗読をするという形で協力をしています。

この展覧会は、「堀浩哉 + 堀えりぜ」が 2011 年以降に展開してきた活動の、現時点での集大成となるものです。

写真）表：2018 年「わたしはだれ?」、裏：左上から時計回りに 2004 年「たった一人の戦争」、2015 年「記憶するために」、1977 年「Dancing-Affair」、2012 年「奪われた時—飯館中学校」、2015 年「記憶するために」、2014 年「Revolution」

#### 会期中のイベント

9月7日[土]14時 オープニングトーク

ゲスト 赤坂憲雄（民俗学者）

9月15日[日]14時

「堀浩哉+堀えりぜ」によるパフォーマンス+トーク

ゲスト 畠中実、金子智太郎（美学研究者）

9月28日[土]14時 トーク

ゲスト 榎木野衣（美術評論家）

10月5日[土]14時 トーク

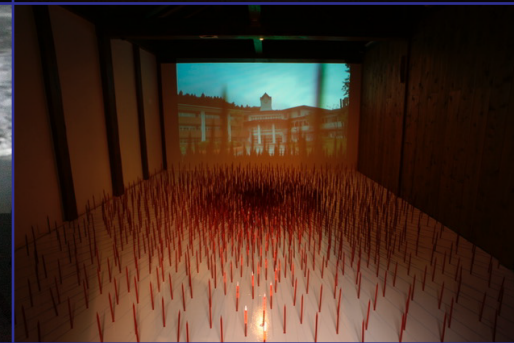
ゲスト 千葉成夫（美術評論家）

11月9日[土]14時 トーク

ゲスト 蔵屋美香（東京国立近代美術館企画課長）

※いずれも参加自由（入館料別途）

チラシをお持ちの方は入館料が 100 円引きとなります



## 公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

〔常設展〕「原爆の図」連作

「水俣の図」

「南京大虐殺の図」

「アウシュビッツの図」

「水俣・原発・三里塚」

丸木スマ水彩画等

〔開館時間〕午前9時～午後5時

〔休館日〕月曜日（月曜祝日の場合は翌平日）

〔入館料〕大人900円 中高生または18歳未満600円  
小学生400円 団体(20名以上)、60歳以上、  
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引  
障碍(しやうがい)のある方は半額

〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401

TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

〔URL〕<http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>

〔Eメール〕[marukimsn@aya.or.jp](mailto:marukimsn@aya.or.jp)

〔交通〕●東武東上線森林公園駅

南口よりタクシー10分、徒歩50分

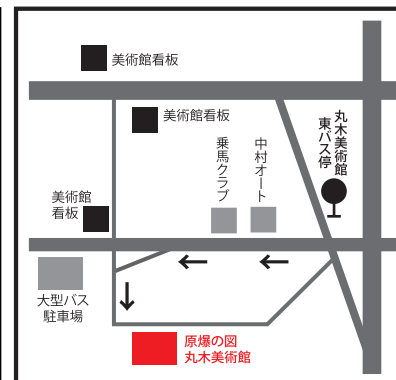
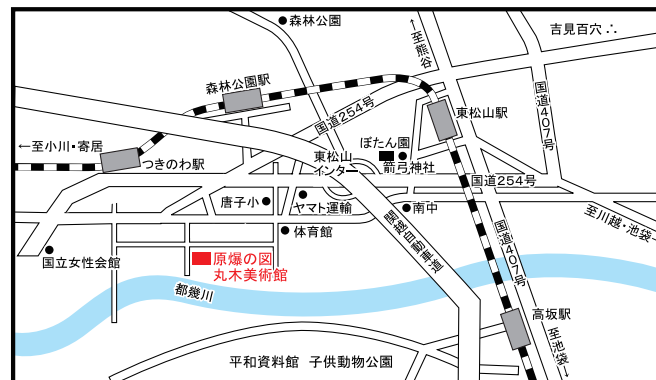
●東武東上線東松山駅より市内循環バス唐子コース（日祝運休）約15分

「丸木美術館東」下車徒歩15分

●関越自動車道

東松山インターより小川方面10分

●東武東上線つきのわ駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい



#### 【市内循環バス時刻表（日祝運休）】

| 東松山駅東口発<br>丸木美術館東行 | 丸木美術館東発<br>東松山駅東口行 |
|--------------------|--------------------|
| 08:55              | 10:32              |
| 10:00              | 11:37              |
| 11:05              | 14:02              |
| 13:30              | 15:02              |
| 14:30              | 16:27              |
| 15:55              | 17:32              |